



# 平成29年度 予算のあらまし

～「もっと、もっと、住みよい上尾」の実現に向けて～

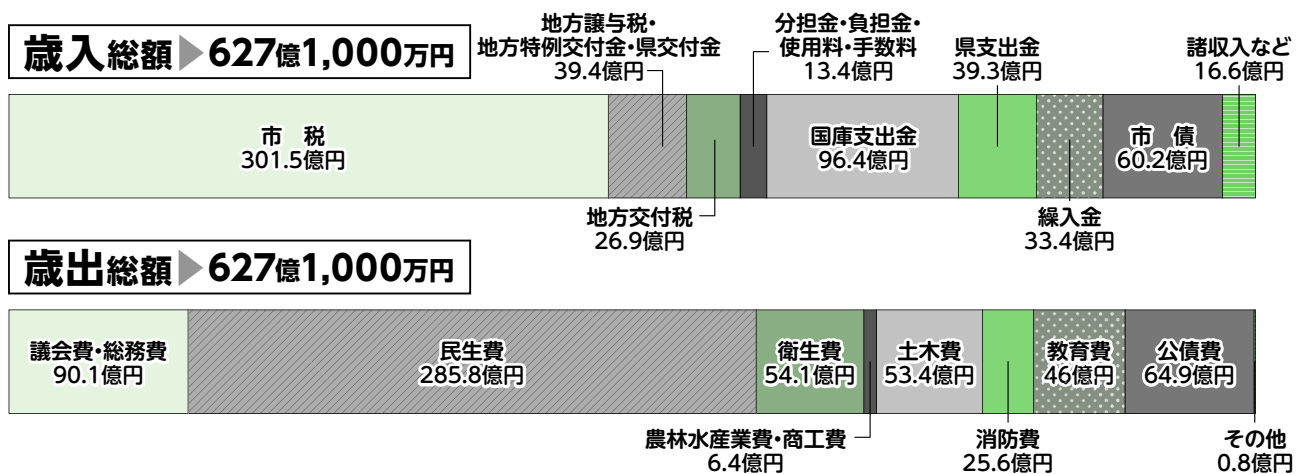
財政課 ☎ 775-4247・FAX 776-8873

平成29年度の一般会計予算は、「もっと、もっと、住みよい上尾」の実現に向け編成しました。ここでは、皆さんからお預かりした税金がどのように生かされるのか、その概要をお知らせします。

予算とは、1年間の収入と支出の見込みを表したものです。平成29年度は、四つの主要事項（5ページ参照）に重点を置いて予算を編成しました。その結果、市の基本的な仕事をするための一般会計予算は、対前年度比0.9割増の627億1千万円になりました。また、特定の仕事をするための特別会計と企業会計を含めると1、174億7千万円（前年度比0.8割増）となりました。

一般会計予算については、歳入では新築家屋の増に伴う固定資産税の増加などにより、市税が増加となる他、生活保護費や障害者自立支援給付費に係る国庫支出金が増加となっています。一方で、歳出では文化センター大規模改造事業などにより、総務費が増加となることなどから、基金を取り崩すことにより予算を編成しました。

高齢化などにより、引き続き社会保障関係経費の増加が見込まれる他、学校・保育所・公民館などの公施設や、道路・上下水道などの都市基盤施設である社会基盤資産の大量更新など、直面する諸課題に引き続き対応していく必要があります。

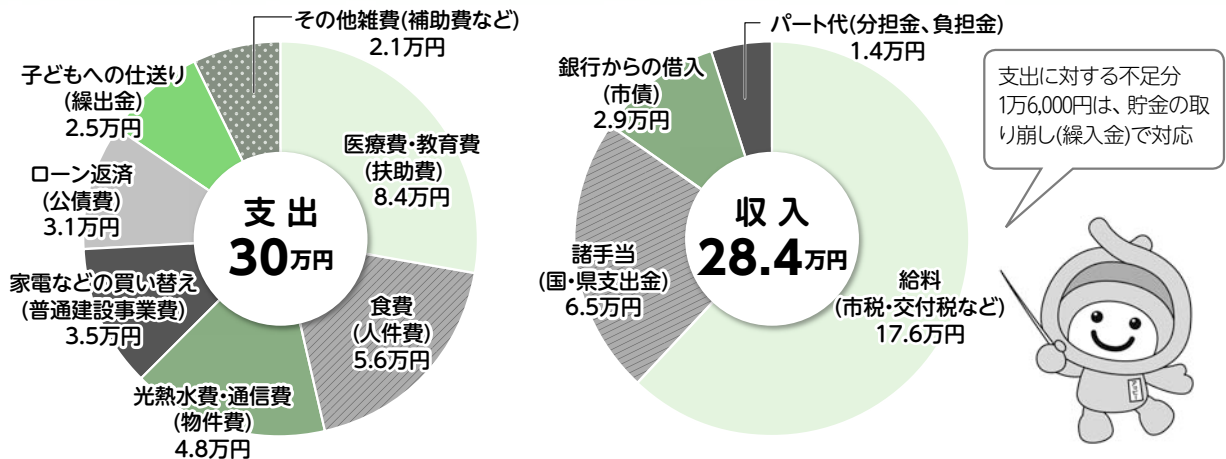


主な歳出項目の  
昨年度との比較

- **総務費** +16億5,000万円  
文化センター大規模改造事業などにより(+24.0%)
- **土木費** -4億3,000万円  
電線地中化整備事業の終了などにより(-7.5%)
- **民生費** -2億5,000万円  
原市保育所複合施設整備事業の終了などにより(-0.9%)
- **教育費** -5億8,000万円  
土地開発公社保有地の買い戻し(土地開発公社健全化)の終了などにより(-11.2%)
- **衛生費** +3億9,000万円  
西貝塚環境センターの焼却炉等施設改修工事費の増などにより(+7.7%)
- **公債費** -1億4,000万円  
償還額が大きい市債の償還終了などにより(-2.1%)

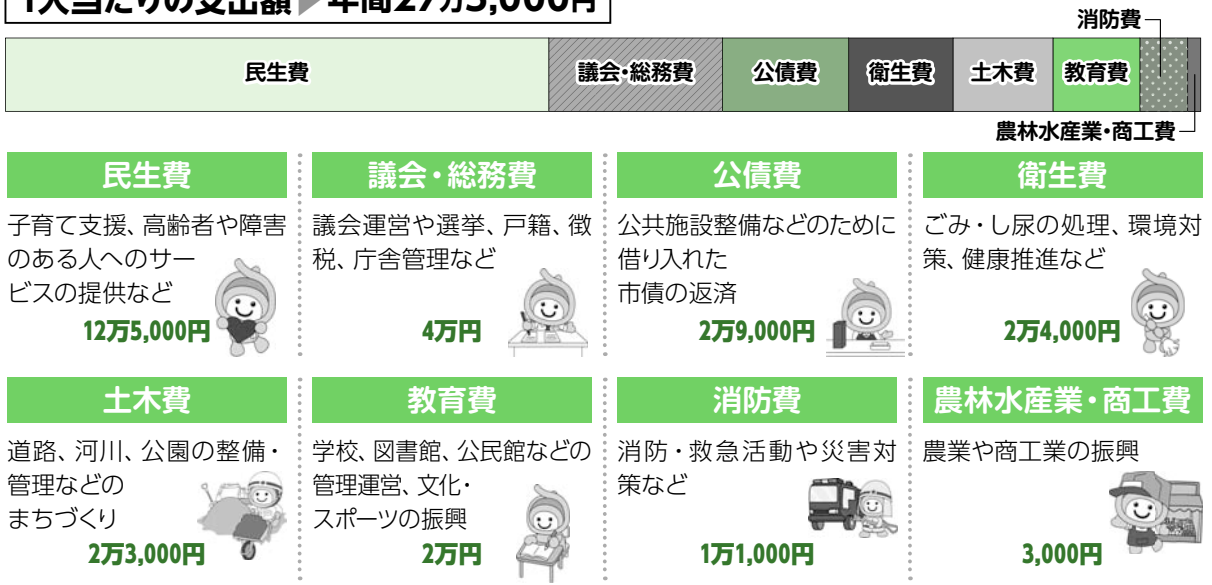
1 平成29年度の市の予算を  
1カ月の家計に例えると

市役所と家庭では単純に比較できませんが、平成29年度の市の一般会計予算を、1カ月の支出が30万円の家計に例えると下図のようになります。



平成29年度の市の予算を  
市民1人当りに換算すると

1人当たりの支出額 ▶ 年間27万5,000円



消費税率と地方消費税率の  
引き上げ分は社会保障関係経費に充当

- 平成26年4月1日から消費税率の引き上げが実施されました。  
※消費税率5% (うち地方分1%) ⇒ 8% (同1.7%)
- 地方税法の規定に基づき、上尾市でも引き上げ分の地方消費税収は全て社会保障施策に要する経費に充当しています。

<歳入> 引き上げ分の地方消費税収入(地方消費税交付金) 12億1,000万円  
 <歳出> 社会保障4経費(年金、医療および介護の社会福祉給付ならびに少子化に対処するための費用)、その他社会保障施策に要する経費 136億6,000万円

【拡充する主な市の社会保障施策】

- ◆ 民間保育園の新設支援[1カ所]
- ◆ 公設の放課後児童クラブの整備
- ◆ 民間の保育士などの処遇改善

個人市民税の均等割の標準税率の  
引き上げ分は過去の防災減災事業に充当

- 東日本大震災復興基本法の理念に基づき、個人市民税の均等割の標準税率について、平成26年6月から10年間に限り、500円の引き上げが実施されています。
- 引き上げ分の市税収入は、平成23~27年度に実施した防災減災などの事業の経費に充当します。

<歳入> 引き上げ分の市税収入(個人市民税均等割) 5,600万円  
 <歳出> 防災減災事業に要する経費 4億3,000万円

※小・中学校校舎耐震改修や校舎改築事業、市民体育館耐震補強事業、消防救急デジタル無線整備事業、保育所・市庁舎第三別館等耐震補強事業などで発行した市債の償還です。